

令和4年度シラバス

視能訓練士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
視能検査学総合演習		講義・演習	谷口 誠典・山本 雅美 渡部 暁子・上村 直久	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
60 時間（2 単位）		30 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
視能訓練士は眼科検査のほぼ全般を担当するが、流れ作業の検査では質の高い視能矯正を提供することはできません。本科目では、患者の主訴や病歴から疾患を想起し、必要に応じた視能検査の立案と実施、評価ができるよう、症例データを基に課題を進めていきます。				
授業の到達目標				
①症例の病態分析と必要な検査を挙げることができる。 ②患者の不安な気持ちや状態に配慮ができる。 ③患者が理解しやすい検査説明ができる。 ④必要な検査を遂行し、結果を記載できる。 ⑤検査結果を教員へ報告できる。 ⑥実習記録を適切に記載することができる。 ⑦患者の立場に立った検査や対応を立案するために必要な知識を習得する。				
授業計画				
回	内容			
1	医療面接（講義）			
2	学校健診（講義）			
3	実験近視（講義）			
4	小児の眼鏡と弱視治療用眼鏡（講義）			
5	眼鏡の種類とフィッティング（講義）			
6	学校健診で眼科を受診【実習】			
7	成人の眼鏡処方（近視・遠視・乱視・不同視）			
8	成人の眼鏡処方（近視・遠視・乱視・不同視）			
9	多焦点レンズ			
10	多焦点レンズ			
11	眼鏡合わせ【実習】			
12	眼鏡合わせ【実習】			
13	正常眼圧緑内障（講義）			
14	正常眼圧緑内障（講義）			
15	正常眼圧緑内障（講義）			
16	症例4）糖尿病網膜症【講義】			
17	糖尿病網膜症【実習】			
18	糖尿病網膜症【実習】			
19	実技練習			
20	実技練習			
21	実技練習			
22	試験【口頭試問】			
23	客観的臨床能力試験【実技試験】			
24	客観的臨床能力試験【実技試験】			
25	客観的臨床能力試験【実技試験】			
26	客観的臨床能力試験【実技試験】			
27	NIDEK			
28	NIDEK			
29	NIDEK			
30	NIDEK			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート				
小テスト				
平常点				
その他	100%	口頭試問と客観的臨床能力試験（実技試験）にて評価する。		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
視能学 第2版	丸尾敏夫 他編		文光堂	
眼科検査ガイド 第2版	根木昭 監修		文光堂	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				